

## 朝日連峰 梡形川西俣沢～岩魚沢～東大鳥川西ノ俣沢(中退)

岩田

【日時】2006年8月12日～15日

【メンバー】岩田(L)、佐藤、笹川、高山

東京を22時に出発して村上に着いたのが朝4時。ろくに眠れず7時には起床して出発する。しかし、天気予報は午前中は雷雨と言っている。猿田川の野営場に着いたころには予報通り雨が降ってきた。仕方なく車中で待機となったが眠ることができるのはありがたい。昼まで待機していたが雨も止み天気が回復してきたので出発する。当初は猿田川を遡り山越えをして西俣沢へ下りる予定だったがスーパーラインを上って県境からヤブを漕いで西俣沢に下りることにした。石井パーティーに金山付近まで送ってもらいそこから歩き始めた。

猛烈なヤブ漕ぎを予想していたが林道からの尾根にはかすかな踏み跡があり思ったより簡単に沢に下りることができた。穏やかな流れを下っていくと左岸に平坦地があったのでそこを初日の宿とした。

翌日、いくつかの小滝を越えるとこの沢の核心部であろうゴルジュ帯となる。最初の7m滝は左岸から巻くと前方に古びたザイルが次の滝の下まで落ちている。嫌な予感を感じながらザイルを引っ張ってみたら何もなくひとまず安心。どうやら懸垂下降するために残置したものらしい。ここは右岸からヤブを漕いでの大高巻きとなった。最後は25mくらいの懸垂下降で沢に下りることができた。振り返ると巻いた滝は30mはあるであろう立派な滝だった。ここから沢は明るくなり始めるが滝はまだ続き懸垂下降を強いられる。本流に下りるとまたもや滝で懸垂下降である。全く、朝日の沢は簡単には通してくれない。そこから穏やかな流れを下っていくと岩魚沢の出合である。

穏やかな流れを遡りいくつか小滝を越えると今回初の雪渓のお出ました。ここはくぐり滝を2つ越えると山越えの沢の出合いについた。ここまで来ればツバクラ沢には簡単に降りられるだろうと思ったのだが……。最初の左から入る沢を無視して右の沢をつめてしまった。これが失敗だった。急なナメ滝を苦労しながらも越えていくが全く稜線に出る気配がない。地図では上部に行くほど傾斜が緩やかになるはずなのだが何か変だとは感じていた。水が枯れてやや傾斜も緩やかになってはきたが対岸の沢に出る気配はない。右に行き過ぎたかと思い尾根らしきところを反対側に向かって進む。ようやく景色が開けて下に大きな沢が見えるようになったが地図を見るとどうも方角があっていない。どうやらその沢は岩魚沢のようだった。ツバクラ沢はその反対側だ。下りる予定の沢はなかなか見つからず仕方なくヤブを下降する。あたりは段々と暗く

なってきた。1ピッチ懸垂で下りたところで今日これ以上先に進むのは危険と感じやむを得ずビバークとなってしまった。虫が多くなるとかつエルトが張れる程度の場所ではあるが暗闇のなかで行動するよりはましだろう。お茶と行動食の簡単な夕食をすませて酒も飲まずに寝る。とにかく疲れる一日だった。

翌日、日の出とともに行動開始。明るくなってくるとようやく現在地がはっきりしてきて眼下の沢がツバクラ沢と確信できた。2ピッチの懸垂で沢に下りてホッとした。大きな滝を2ピッチの懸垂で下りるとそこが東大鳥川・西ノ俣沢だ。沢は水量豊富で明るく魚影も濃い。昨夜のビバークを忘れさせるような快適な河原歩きとなった。すぐに三俣に到着しクラシ沢に入る。巾1mのトロを越えていくと次のトロの向こうに雪溪が見える。あの先は越えられるか？トロを泳いでいくとその先には滝があり左岸を巻きながら雪溪を越えることになりそうだ。しかし、これを越えたら戻ることはもうできないかもしれない。今後のことを考えると今日中に榊形山にたどりつくのは困難と判断して仕方なく来た沢を戻りエスケープルートであった榊形川を下って西大鳥に下山することにした。先に進むことができなかったのは不本意だったがあの状況では最善の選択だったと思う。

昨日の山越えで迷った沢は逆から行けばすぐにわかった。やはり読図力不足を痛感した。滝を数回の懸垂で下りると昨日通った岩魚沢に下りることができた。出合は狭いがなんとかつエルトが張れそうなのでここで幕営とした。相変わらず虫は多いが昨日の夜に比べれば大した問題ではない。焚き火を燃やし、ビールを飲み、ようやく沢登りらしくなった。やはりこうでなくちゃなー。

最終日は一昨日通った沢を下るだけだ。岩魚沢の出合いに来ると急にアブが多くなってきた。最後になってアブの猛攻を受けてしまった。榊形川の下りは快適なゴルジュを下る。登りだったらちょっととこずるかもしれないがラッコ泳ぎなどをしながら楽しく下った。流れが穏やかになると左岸に踏み跡が現れ1時間程度でスーパーラインに着いた。ここから炎天下の林道歩きとなり西大鳥のバス停に到着。ここで飲んだビールは喉にしみわたるほどうまかったー。

このあとの石井パーティーとの合流にはいろいろなことがあって合流できたのは深夜だった。詳しくは書かない。まあ原因は私の焦りと深読みのしすぎとでも言っておこう。みなさんにはご迷惑をおかけしました。合流後は仁さんの実家へ。深夜にも関わらず泊めていただき申し訳ない。石井パーティーと乾杯してようやく終わったのだと実感。いろいろなことがあったがとにかく無事に下山できて良かった。

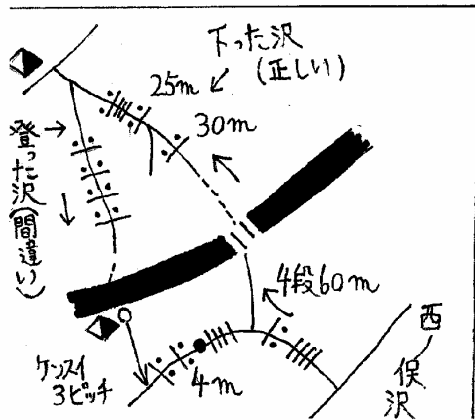
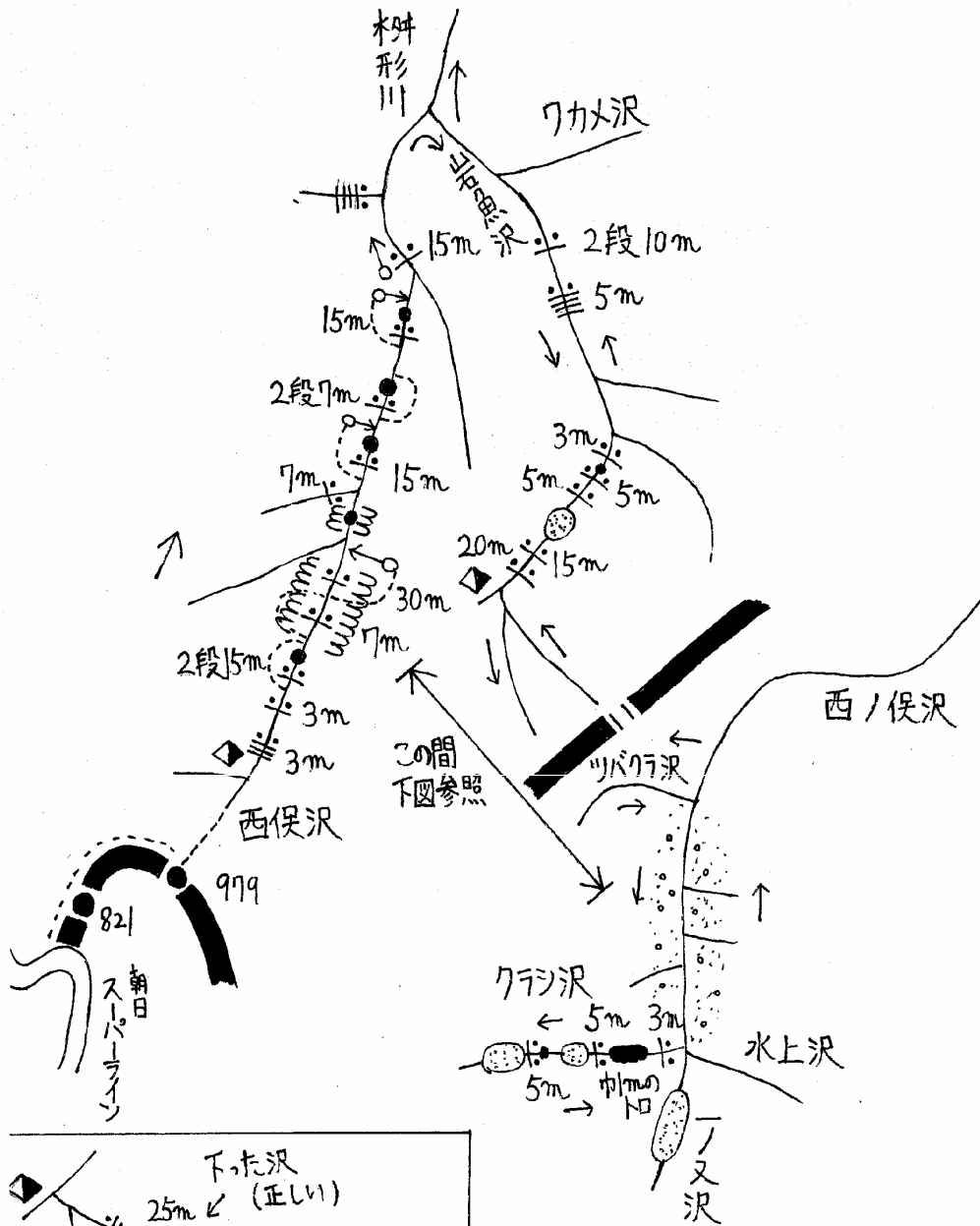
**【行程】** 8/12 県境(13:50)～B P(16:45)

8/13 BP(6:10)～西俣沢出合(10:00)～山越えの沢出合(14:00)～BP(18:30)

8/14 BP(4:00)～三俣(9:30)～BP(16:30)

8/15 BP(6:00)～岩魚沢出合(8:00)～スーパーライン(10:00)

**【地図】** 鳴海山、大鳥池



榊形川西俣沢 ~ 岩魚沢  
 ~ 東丈島川西ノ俣沢

2006.8.12 ~ 16

作図 岩田